

## 患者の皆様へ

令和8年5月20日  
宮城県立精神医療センター

現在、当院では、「院内作業療法における認知機能リハビリテーションプログラム『やわらかあたま教室』の導入・実践」に関する研究を行っています。

今後の認知機能リハビリテーションの質の向上を目的に、本研究では令和7年1月～令和10年3月の期間にやわらかあたま教室にご参加いただいた患者さんのアンケート結果などを利用させていただきます。

これらが本研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

「院内作業療法における認知機能リハビリテーションプログラム『やわらかあたま教室』の導入・実践」に関する研究（研究実施責任者：宮城県立精神医療センター 訪問看護ステーションゆとり 主任作業療法士 安達健朗）

### 2. 研究の意義・目的

認知機能リハビリテーションプログラム「やわらかあたま教室」の活動に参加した方々にどのような効果があったのかを明らかにするとともに、活動の課題についても検討を加え改善していきます。この研究を行うことにより、より充実した内容の認知機能リハビリテーションを提供していくことを目的にしています。

### 3. 研究の方法

#### (1) 対象となる患者さん：

入院中、やわらかあたま教室に参加したことがある方

#### (2) 扱われる情報：

- ・やわらかあたま教室終了後、任意で協力いただいた「やわらかあたま教室アンケート」の回答結果
- ・診療録の記載内容から、病歴、治療歴、作業療法記録等

#### (3) 研究方法：

やわらかあたま教室の実施方法は、週1回病棟ホールにて1時間程度行います。評価方法は、「やわらかあたま教室アンケート」を教室終了後に、任意で参加者に記入してもらいます。回収したアンケートの内容を質問項目ごとに集計、グラフ化し、参加者の主観的満足度、再参加意欲等を分析します。また、同教室を経て個別支援へと発展し、QOLに変化をもたらした方へのインタビューを実施します。

### 4. 個人情報の取り扱い

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に漏れることのないように厳重に管理します。アンケートなど研究に用いられる情報に係る資料は、研究終了日から3年まで保管された後に、復元できないような形で廃棄します。アンケート結果の使用については個人から研究同意は取得しませんが、研究内容についての情報と研究代表者の連絡先をホームページなどで公開し、研究内容を知る機会と研究参加の拒否機会を担保するようにします。もし対象者から研究参加の拒否の申し出があった場合は、その個人は研究対象から除外します。

5. 外部への試料・情報の提供

上記情報は、匿名化し日本作業療法学会等院外での発表に用いる場合があります。

6. 研究に情報利用を望まれない場合

アンケート結果等の情報利用を希望されない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の「お問い合わせ先」までお申し出ください。

7. お問い合わせ先

宮城県立精神医療センター

研究責任者：安達 健朗（訪問看護ステーションゆとり）

TEL：022-384-2236（代表）